

建設 RX コンソーシアム 2024 年度通常総会を開催



建設 RX コンソーシアムは、去る 2024 年 7 月 3 日（水）、東京・ベルサール神田にて、2024 年度通常総会を開催しました。

5 つの議案に沿って、2023 年度の事業報告および 2024 年度の活動や事業計画などが審議され、全て可決されました。その後、役員交代の報告と挨拶、全体での記念撮影を終えて無事閉会。総会後の懇親会では、会員間で情報交換などが活発に行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

【建設 RX コンソーシアム 2024 年度通常総会】

日時：2024 年 7 月 3 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分

会場：ベルサール神田

出席：163 社 276 名（総会時点の会員数 263 社）

議案：第 1 号議案 2023 年度 事業および会計報告

第 2 号議案 2024 年度 エキシビジョン企画

第 3 号議案 実用化推進委員会の活動について

第 4 号議案 2024 年度 事業計画および予算案

第 5 号議案 プレスに関する規約の改正について

次ページでは、議題の中から、今年度の建設 RX コンソーシアムの主な活動を紹介いたします。

2024 年度は、より積極的な広報活動と建設業界での技術展開に注力

11 月に品川インターシティでエキジビションを開催

2023 年度東京フォーラムで開催した「RX コンソーシアム エキシビション 2023」に続き、今年度もエキジビションの開催が可決されました。今回はコンソーシアム内の連携強化に軸足を置くこととし、一般公開の形ではなく業界および関係者向けとし、会員企業間の情報交流の場として開催します。日程は 11 月 27 日～28 日の 2 日間、場所は品川インターシティホールを予定しています。

「実用化推進委員会」の設置により、開発技術を建設業界での普及展開を推進

本コンソーシアムが対象とする開発技術を建設業界で広く普及展開し実用化を推進するため、2024 年 4 月から実用化推進委員会が設置され活動を始めました。今年度は、実用化の検証に進む段階※にある技術を対象に、市場把握や PoC 実施に向けた諸問題、運用・メンテナンス体制の構築などを検討できるように、委員会に予算を付け、実用化に伴う課題解決を図っていきます。

※技術開発が概ね完了し、利用を要望する会員が滞りなくその技術を利用できるよう実用化推進の支援を行う段階

会長 村上陸太より



担い手不足の中、法定労働時間の上限規制が始まり、様々な方面から建設業は大変ですねと言われます。一部のマスコミの中には、建設業の業界としての将来を不安視されている方もいらっしゃいます。しかし、私はそのようなことはないと思っています。本コンソーシアムに参加している会員の方々の活動を見てみると、お互いが楽しそうに意見交換をしながら技術開発を行っています。私たちの活動は、今の建設業の状況や課題に対処するためだけにあるのではなく、新しい技術をどんどん開発し、建設業の未来を切り拓いていくことです。そのため今年度は、ものづくりの楽しさをもっと伝えるとともに、技術の開発や開発した技術の展開をより一層推進していきたいと思えます。

大盛況の懇親会の様子。テーブルのあちらこちらで活発に意見が交わされました。



以上